

No.312

2026年
9月号

さくら

図書館だより

(編集・発行)

宿毛市立坂本図書館

〒788-0001

宿毛市中央二丁目7番14号

☎ 0880-63-2654

FAX 0880-63-0155

《 展示のご案内 》

展示期間 9月23日(水)まで

★メイン展示

『認知症』



今年も長寿政策課予防係・宿毛市地域包括支援センター・認知症サポーターわの会のみなさんとコラボし、認知症”をテーマに展示しました。



●メイン展示図書(抜粋)

「健康と生きがいづくりに役立つ笑いの力」
「認知症の人、その本当の気持ち」「癒やしのマフ」
「「親の介護」は猫にたとえちゃえばいい。」「マンガ ぼけ日和」「親の認知症に気づいたら読む本」
「認知症の人の心に届く、声のかけ方・接し方」
「注文をまちがえる料理店」「認知症といわれたら」
「家族が認知症かも?と思ったときのファーストブック」
「認知症の人」への接し方のきほん」

★サブ展示

福祉事務所コラボ企画
『毎年9月23日は手話言語の国際デーです。』

9月23日の「手話言語の国際デー」にちなんで手話についての本を展示しています。

●サブ展示図書(抜粋)

「難聴とともに働く」「日本手話へのパスポート」
「コード」「手話でうたおう子どもの歌」
「「コード」のぼくが見る世界」「ルールやしくみを知れば、どんどん覚えられる!手話単語」
「辞書にないけどよく使う手話単語&フレーズ 392」「日本手話がおしえてくれること」
「障害があってもいっしょだよ! 5」



ライブラリーコンサート

ライブラリーコンサートを開催します。
皆様のご来館をお待ちしています。

日 時 9月26日(土) 14時~15時

場 所 坂本図書館 観覧無料

出演者 ソプラノ 今城 美千代
ピアノ 石崎 友隆

※当日は、館内で終日、BGMが流れます。



読んでみませんか？

-新着図書のご案内-

(一般)

海のふしぎ図鑑

畠山 泰英 文
後藤 忠徳 監修
エクスナレッジ

海岸の色が赤くなる海、透明度が高くて船が宙に浮かぶように見える海、夜に光る海…。地球には、この他にも私たちの想像をはるかに超えた姿を見せる海がいっぱいあります。そんな海の姿とメカニズムを、鮮やかな写真とイラストで紹介＆解説！海につながる雄大な地球の営みに圧倒される一冊。海の絶景に心奪われてみませんか？

(児童)

地図でわかる！国旗の由来ずかん 地図で見る199カ国の国旗の由来！

西村 まさゆき・北向 ハナウタ 著
タラ ジロウ 絵
ほるぷ出版

「ヨーロッパには3色国旗の国が多い」
「三日月はイスラム地域の国旗に多い」など、共通した由来ごとに各国の国旗を世界地図とともに紹介している一冊です。地域や歴史・文化により様々な由来を持つ国旗を、視覚的に楽しく学んでみてはいかがでしょうか。

(一般)

楽園

夕木 春央 著
講談社

緻密なロジックと極限状態の人間ドラマで魅了する大ヒット作『方舟』の著者が贈る最新作。逃げ場のない楽園で一体何が起きているのか…。美しい装丁が放つ、不穏でどこか狂気を感じさせる世界観の中で事件が幕を開けます。幾重にも重ねられた伏線と、予想をことごとく裏切る展開はまさに圧巻。

人間の心理を巧みに描いた重厚なストーリーと、ラストに待ち受ける驚愕の真実を、ぜひその目で確かめてみてください。

(児童)

ゆうびんしゃのあかぼん

正高 もとこ 作
岩崎書店

嵐の中、大ピンチ！あかぼん、出動だ！大きな車に「ちび」だとばかにされた郵便車あかぼん。誰も走れない激しい嵐の日、小さくて小回りのきくあかぼんにしかできない大仕事がやってきます。

悔しさ吹き飛ばす大活躍にワクワクが止まらない！仲間のはたらく車たちも大集合の1冊です。

※本の紹介文は、スタッフが作成しています。

宿毛市市民講座

山下量子

今年も宿毛市市民講座に参加した。
ジャーナリストの丸山ゴンザレスさんは、世界各地の危険地帯や裏社会を取材するジャーナリストでTBS『クレイジージャーニー』では、スラムや犯罪組織など、普通は足を踏み入れない場所を取材している。「発信しなければ、その情報は無いに等しい」、とおっしゃっていて、さまざまな立場の人々の声を世界に届けているのだと感じた。「常識」というものは、世界各地、人の数だけあるのだということを思い知った。

櫻井つぐみさんは、高知県香南市出身のレスリング選手で、パリ2024オリンピック女子57kg級の金メダリストだ。

3歳からレスリングを始め、世界選手権でも優勝するなど世界の頂点で活躍してきた。

「諦めなければ夢はかなう」がテーマのこの講演では、彼女がひたむきに夢に向かって努力し、うまくいかなかった時は、何故かと自身に問い、身体や食事や練習と向かい合ったことがよく分かった。その姿はけなげであり、強いと思った。ひたすらに自分の夢を信じて疑わない強さだ。高知県出身であることが、誇らしいと思った。

そして、旅人でありエッセイストのたかのてるこさんの講演では、号泣してしまうことになった。
たかのてるこさんは、『ガンジス河でバタフライ』で知られる旅人・エッセイストである。
世界75カ国を旅し、その体験をもとに数多くの著書を執筆している。

本当にエネルギーで、無邪気な女性だ。かつては私も一人で世界を旅するのが好きだったのを思い出し、話を聞くにつれ、また旅をしたくなってきた。
講演の冒頭でおっしゃっていたが、旅をしている人は、認知症のリスクが下がるという研究データがあるのだという。私の両親も、旅行が好きだから年の割に元気なのかもしれない。これからは、どんどん旅に送り出そうと思った。

さて、私が号泣したのは、彼女の旅の話、というよりも、講演の後半に語っていた生死についての考え方だった。
世界で様々な人と出会い、別れを経験し、また様々な生死の価値観と触れた彼女だからこそその言葉なのだろう。

「人が旅立ったとき、まだ若いのに、とか勝手にジャッジして、相手を哀れんだりするのは、その亡くなった人の人生を尊重していない。」、というような内容だった。

・・・それこそ、私がしていたことだった。
昨年1月号に、このさくら随筆にも書いたことがある私の親友の春季。まだ40代なのに、誕生日を迎えてすぐに亡くなった。乳がんだった。

あの時から、私の心の一部は、時間が止まっていて、彼女の死を受け入れることが出来ていなかった。思い出せば涙が出て、「お疲れ様でした」「良い人生だったね」「出会えて良かった」なんて素敵な言葉など言えなかった。春季の夢を知っていたからこそ、その夢を叶えられなかったことや、春季の家族の悲しむ顔まで、胸に刻まれてそこから踏み出すことが出来なかった。

でもたかのてるこさんの話を聞いて、ハッとしました。
私は、春季を可哀想だと思っていた。夢も半ばで早くして亡くなって可哀想って、勝手にジャッジしていたのだ。そして、どこかで、自分は幸せになって良いのだろうかと思っていた。生きられている自分は幸せ者で、なんだかそれが罪悪のように感じていたのだ。

彼女の人生を、短いとか長いとか、そんな小さなモノサシで計って、私こそが、彼女を可哀想な人に仕立てあげていたと気づいた。

彼女は懸命に生きて、泣いたり、怒ったり、悩んだり、笑ったりして、家族や私やたくさんの人とたくさんの時間を過ごした。人を愛し、愛された。

本当に大事なものは、彼女の生きた長さで彼女を不幸だと決めつけるのではなく、彼女の生きた時間を、一緒に過ごした時間を宝物だと知ることだと思った。
私はまだまだ彼女に未練ばかりあって、もっと一緒にいろいろしたかったとか、こんな時、春季がいればとか、何度も何度も彼女を思い出す。けれどもそこまで思える彼女との出会いが私の最高の宝物で、そんな彼女と出会えたことが奇跡だった。

せめて親友の私の中では、彼女の死を不幸なものにしないでこころ。そう思った。

それははじめて彼女の死を受け入れられたような感覚で、講演中、涙が止まらなかった。

そして同時に、大きな大きな重いものが、肩からはずれたような気がした。

春季はそのまま終わるような人間じゃない。きっとまた生まれ変わってやってくるさ。
そう気楽に感じられるようになった。

あとから家に帰って、急いで、たかのてるこさんにお礼の手紙を書いた。そしてサイン会を終えた彼女に手渡した。どれだけ今回の講演会で私が救われたかを、きちんと書き留めて伝えたかったのだ。

・・・講演会というのも一つの出会いなのだろう。こんな風に誰かの言葉が、誰かの人生を変えるのだから。

たかのてるこさんとの出会いに感謝だ。

残る市民講座は8月22日の天達武史さんである。楽しみにしています。

～新着図書のご紹介～

一般図書



- | | |
|------------------------|------------|
| 0 「生成AI時代の情報検索入門」 | 上岡 真紀子 |
| 0 「活字を友とする人と本屋と図書館の物語」 | 鈴木 暁彦 |
| 1 「溺れながら生きる」 | 信田 さよ子 |
| 1 「ほほえんで生きるための人生相談」 | 美輪 明宏 |
| 2 「「日本一」を地図化する」 | 伊藤 智章 |
| 3 「刑務所の文章教室」 | 大塚 敦子 |
| 3 「離婚後の子育てを考える本」 | 福丸 由佳 |
| 3 「ナルコトラフィコ」 | 丸山 ゴンザレス |
| 4 「超図解いきもの全史」 | 長谷川 政美 |
| 4 「癒やしのマフ」 | 鈴木 みずえ |
| 5 「からだの厚みを薄くする」 | 土屋 元明 |
| 6 「どうぶつ法律相談所」 | 中間 隼人 |
| 7 「製造業としてのアニメーション」 | 一藤 浩隆 |
| 8 「文法、どこにありますか？」 | 高田 祥司 |
| 9 「オービタル」 | サマンサ ハーヴィー |
| 9 「傾斜のマリア」 | 恩田 陸 |
| 9 「夜想い」 | 住野 よる |
| 9 「はじまりのスープ、夏ゼリー」 | 瀬尾 まいこ |
| 9 「鋼鉄のレガシー」 | 堂場 瞬一 |
| 9 「永遠の記憶」 | 東野 圭吾 |
| 9 「王国」 | 湊 かなえ |
| 9 「楽園」 | 夕木 春央 |

※左側の数字は図書の分類を表しています。
0...総記、1...哲学、2...歴史、3...社会科学、4...自然科学
5...技術、6...産業、7...芸術、8...言語、9...文学

児童図書



- | | |
|--------------------|--------------|
| 「地図でわかる! 国旗の由来ずかん」 | 西村 まさゆき |
| 「10歳からの図解でわかる国際機関」 | 長谷川 智 |
| 「ジブリの食卓崖の上のポニョ」 | スタジオジブリ 監修 |
| 「アニメちいかわひみつずかん」 | ナガノ 原作 |
| 「とにかくかわいいいきもの四字熟語」 | 卯月 啓子 |
| 「なつのおばけずかん」 | 斉藤 洋 |
| 「ねこのニャンジャは1年生」 | 村上 しいこ |
| 「もりもりの出版社」 | まはら 三桃 |
| 「大好きだっていえるまで」 | ヘザー スミス |
| 「答えは本の中に」 | デイヴィッド レヴィサン |

絵 本



- | | |
|----------------------|-------------|
| 「みんな王さま」 | ハインツ・ヤーニッシュ |
| 「あのひのまたあした」 | かさい まり |
| 「ゆうびんしゃの あかぼん」 | 正高 もとこ |
| 「おにやけやしき」 | 大塚 健太 |
| 「はなび」 | マシュー・バージェス |
| 「ライチョウのいのり」 | 村上 康成 |
| 「ムーミントロールとニョロニョロのたね」 | トーベ・ヤンソン原作 |
| 「せかいをみてきたペンギンくん」 | M.&H.A.レイ |
| 「すごいぞカラス」 | クリス・バターワース |



★このほかにもたくさんの図書が入っております。
図書館ホームページでは、新着図書一覧が検索
できますので、そちらもぜひご覧ください。

【新着図書一覧検索】

9月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

10月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

開館日時 火～金 10:00～18:30 土・日・祝 10:00～18:00
ホームページ <https://www.city.sukumo.kochi.jp/docs-25/p010805.html>
メールアドレス tosyo@city.sukumo.lg.jp

は休館日

※9月21日(月・祝日)、22日(火・祝日)、23日(水・祝日)
26日(土)、10月12日(月・祝)は、BGMデーです。



【図書館HP】

